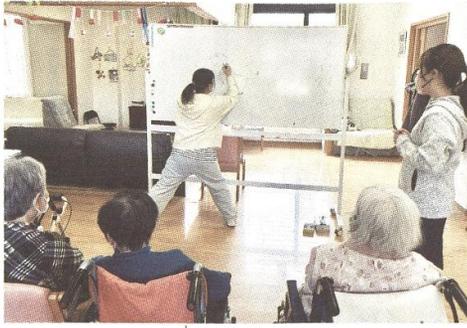


延べ171人がボランティア

佐久大 介護施設や病院で活躍

佐久大学（堀内ふき学長）は昨年7月、大学内に「ボランティア・アクションセンター」を開設し、約半年で延べ171人の学生がボランティア活動を実施した。介護施設と病院のサポーターやマラソン大会、献血バスの手伝いなど依頼は幅広く、徐々に地域に浸透している。同センターは学生を中心に研究者や職員、地域住民らの協力を得て佐久地域の活性化や学生と社会がつながるボランティアの機会を提供。社会貢献できる人材を育成することが目的。（山岸健人）



同センターは、地域 頼を集約し、学生への のレクリエーションの からのボランティア依 ボランティア情報の紹 サポーターなどを担い、 介から活動前 利用者からは「これま 後のサポー で大学生と触れ合う機 会がなく、良かった」 と評価する声があつた。 ボランティア 活動全般 を支援する。 介護施設の 状態も届いたという。介 護施設でボランティア をした学生は「高齢者 の人を行うレクリエー ションを自分たちで考 え、それを実践する貴 重な機会で、実習並み の経験になった。今回 学んだことを今後に生

介護施設で利 用者とレクリ エーションを する学生（佐 久大提供）

かしたい」と見据え た。同センターの鈴木祥 子氏は「大学で勉強し ていることの延長にあ る」と話す。

同センターは、来年

に参加する学生が多 度以降も運営を続け る。ボランティアの依 頼については、まずは 相談してほしいとして いる。

同センターは、来年 度以降も運営を続け る。ボランティアの依 頼については、まずは 相談してほしいとして いる。

【医療タイムス】

2024年2月10日（土）8面

ター（☎0267・77 ・7115、Eメール vac@saku.ac.jp）へ。 開設時間は毎週水、金 曜日の午後1時～5 時。